

ワークショップ6	
タイトル	アドバンス・ケア・プランニングと意思決定支援の臨床
日時	6月13日(土) 10:00-12:00
企画責任者	津田 修治 (公募企画)
定員	30名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>【目的】</p> <p>事前指示書・アドバンス・ケア・プランニング(ACP), 人生の最終段階における意思決定支援について, レクチャーとロールプレイを交えて, 臨床とその取り巻く状況について理解する。このWSの目的は、日常診療にACPのプログラムや事前指示書を取り入れるヒントを持ち帰ることである。</p> <p>【対象】</p> <p>ACPや意思決定支援の臨床を実践している、または実践しようと考えている医療者。</p> <p>【概要】</p> <p>【概要】</p> <p>高齢者診療では、終末期を意識した継続的な関わりの中で、患者の人生観・価値観や医療に対する希望を家族や医療者と共有するACPが大切である。ACPは患者の人生の幕引きの準備とその共有プロセスであり、その中で事前指示書を作成する。事前指示書・ACPは終末期の意思決定支援の際に利用され、その人らしい人生の最期を実現する支援へとつながるため、ACPと意思決定支援は一続きの臨床として理解することが肝要である。ACPの臨床は、施設ごとの取り組みだけでなく、国の事業(平成26年度人生の最終段階における医療体制整備事業)としても展開されており、超高齢社会をむかえた日本の医療に不可欠なものとなりつつある。</p> <p>本ワークショップは、事前指示書・ACPと意思決定支援の2つを扱うが、患者がその人らしい最期を迎えるという共通の目的のもとで展開される。この一連の過程を理解した上で、実際の支援で患者の人生観や価値観、家族の文脈や感情などをどのように扱うことができるのか、コミュニケーションのロールプレイを通じて理解を深めたい。また、この分野は欧米の自己決定の概念から発生したものだが、米国をはじめとした諸外国と日本に文化的差異があること、倫理的な問題を孕みやすく、社会的・法的な動きとも密接していることなど、臨床を取り巻く状況からの影響が大きい。国内外の状況を把握して、課題等を理解した上で、安全で効果的な診療ができるように解説する。</p>	